

企業関係者と弁理士の知財研究会

第16回（2021年度－5）・実施報告書

令和4年3月5日

保科敏夫・鈴木一徳

令和4年3月3日（木）に行われた、企業関係者と弁理士の知財研究会・第16回について、実施報告をいたします。

実施したクラス

当初の予定どおり、午後3時半～5時のクラスと午後5時半～7時のクラスの2クラスを実施した。内容は同じである。

参加人数

司会・進行の保科及び鈴木を除き、3時半クラス5名、5時半クラス6名。

参加者の内訳

① 3時半クラス 5名

企業関係者4名（企業内弁理士1名、弁理士以外3名）、特許事務所（弁理士）1名
神奈川委員会委員1名、委員以外4名
会場受講0名、オンライン受講（Zoom）5名

② 5時半クラス 6名

企業関係者6名（企業内弁理士2名、弁理士以外4名）、特許事務所（弁理士）0名
神奈川委員会委員1名、委員以外5名
会場受講1名、オンライン受講（Zoom）5名

テーマ

よい明細書とは

内容

クレーム及び明細書について、強い特許権の取り方、後の分割出願でも有利な明細書の書き方等についてディスカッションを行った。

担当者コメント

今回も、3時半クラス、5時半クラスともに、遠隔地からご参加いただいた方が複数名いらっしゃった。

今回はZoomのシステムを一新した。映像及び音声についても、問題なく進行することができた。

今後の予定

第17回（2022年度－1）日程は未定。テーマは、「新規事項追加の禁止」

第18回（2022年度－2）日程は未定。テーマは、「選択発明及び利用発明」

以上